

ゲノム編集魚ふるさと納税返礼品に NO！

ムギフネ、永田町へ！ 私たちに起こった出来事を証言します。

むぎふね新聞

院内集会
特別号

2025.2.1

天橋立のある宮津市の、麦のね宙ふねっとワーク、通称ムギフネです！ちよっと変わった名前だけど、無宗教、無党派、自然農法や釣り、食べることや音楽が大好きな女性ふたりで始めた小さな市民グループです。名前の由来は、中島みゆきさんの麦の唄と、宙船から。最後まで読んでいただけたら嬉しいです。

2021年に宮津市のふるさと納税返礼品に、遺伝子操作のゲノム編集トラフグが出品されてから、取り下げを求めて署名や請願など頑張ってきました。しかし1万筆以上集まった署名に対する市長の返答はなく、宮津市議会は請願を否決。多くの議員は市民の反対や、技術にもリスクがある事を知っていながら、市や国や企業の言い分を選択してしまいました。

昨年末にはトラフグに続き、真鯛も出品されています。

2028年には関西電力エネ研跡地をサステイナブルパークとして再開発、ゲノム編集魚を販売するリージョナルフィッシュ社が土地を購入し、陸上養殖施設を拡大する話が持ち上がっています。排水や環境への影響、風評被害ならぬ実害、経年後の健康被害も懸念されています。返礼品のトラフグは遺伝子操作のゲノム編集により満腹中枢の遺伝子を切られ、食べ続けることをやめることが出来ずに巨大化します。マダイは筋肉の増強を抑えられず骨の成長が追いつかず、異常な姿に。

世界では遺伝子組み換えとして禁止しているところもあり、販売しているのは日本だけです。食べたくないという人もいるものを、大好きな宮津の地場産品にしてほしくないし、人間の都合で生き物の尊厳を奪うような事はしてほしくないのです。

対話をしてほしいと、何度お願いしても退けられた上、同社は署名活動に対する損害賠償請求や名誉毀損、してもいない不法侵入等の罪で訴訟するぞと私達に内容証明を送りつけて、声をあげる人達を押さえ込もうとしようとしています。どうか真実を知っていただき、皆さんの智慧を、力を貸してください！

2025年2月21日 衆議院議員議員会館で院内集会 開催決定！

「ゲノム編集魚は安全でサステナブルなのか？」
～リージョナルフィッシュ社への公的支援のあり方を問う院内集会～
共同代表 井口 矢野2名で現地参加、同日クロスワークセンターMIYAZUにて中継放映いたします！どうぞどなたでもご参加ください！ 詳しくはこちら→



【制作】
KYOTO
MIYAZU
麦のね宙ふねっとワーク

宮津会場 (東京からオンライン中継)

(宮津が最先端？ふるさと納税返礼品になっているゲノム編集魚問題について学ぼう！)

参加：無料 (カンパ歓迎)

日時：2025年2月21日 (金) 14:00～17:00

会場：クロスワークセンターMIYAZU

宮津市鶴賀2164-2 (歴史の館向かい)

東京会場 (オンライン配信あり)

日時：2025年2月21日 (金) 14:00～16:00

会場：衆議院第1議員会館第5会議室

東京都千代田区永田町一丁目7番1号 地図

国会議事堂前駅 (東京メトロ丸ノ内線/千代田線)

永田町駅 (東京メトロ有楽町線/半蔵門線/南北線)

主催：遺伝子組み換え食品いらない！キャンペーン

OKシードプロジェクト/日本消費者連盟

ご賛同頂ける団体も
募集しています！

署名にご協力いただきありがとうございました！

宮津市長殿

ゲノム編集とらふぐをふるさと納税返礼品から削除し、
海上養殖は絶対にしないでください！

安全性に不安のあるゲノム編集とらふぐを

宮津市のふるさと納税の返礼品から削除してください。

ゲノム編集について不安に思う市民の声や、危険性もあるという

専門家などの意見も聞き入れてください。また、住民説明会を開いてください。
ゲノム編集を宮津市民がみんな応援しているかのような発信や広報はやめてください。
海上での養殖は絶対にやめてください。宮津市からも許可を出さないでください。

10,661筆

2023年2月14日提出

2025年3月8日(土) 記者会見を宮津にて開きます！ 14時～クロスワークセンターMIYAZUにて

OKシードプロジェクトの事務局長 印鑑智哉さん、有志の弁護士さんにご同席頂き、院内集会のご報告と
リージョナルフィッシュ社代理人からの内容証明文について記者会見を開きます。どなたでもご参加ください！



会見会場(クロスワークセンターMIYAZU) 宮津市鶴賀2164-2 /取材申込、ご参加は 090-4303-1730 井口NOCOまで

魚っ知館のあった関西電力エネ研跡地が 巨大なゲノム編集魚の陸上養殖施設に!?



子供たちの楽しい思い出の場所だった水族館魚っ知館が閉鎖、長い間廃墟のようになっていたエネ研跡地が売却されます。もちろん、本当にサステイナブル（持続可能な）事業者さんが来てくれるなら歓迎ですが、ゲノム編集魚の陸上養殖には大きなリスクも伴う上に、市民との対話を拒み、脅しをかけるような企業の事業が拡大することに大きな恐怖を感じています。すぐ近くには栗田の水揚げ場。海外では批判も大きくどの国もやっていない遺伝子操作のゲノム編集魚の作製や流通販売に一旦ストップをかけ、対話や話し合いで市民の声を聞き入れてほしいと思います。

表示の義務がない！ おかしいなゲノム編集



ゲノム編集は遺伝子組み換えでない、自然界での突然変異との見分けがつかない、という見解で、表示なく販売しても良いと、詳しい安全検査もないまま流通が始まってしまいました。しかし、人為的に手を加えた遺伝子操作生物であることに変わりはない、満腹中枢や筋肉抑制遺伝子を破壊され、異常な姿になった奇形魚でも、切り身やお寿司になってしまえば、飲食店やスーパーで宮津の地魚、特産品と表示し、販売することが出来ます。さらには国や京都府からリージョナルフィッシュ社に、多くの公金、すなわち私達の大切な税金が数十億円も投入されていることがわかりました。この事に国会議員の中でもおかしいと声をあげてくれる方が出てきました！

2月の院内集会では農水省や環境省、経産省も立ち会い、ムギフネも登壇します。根拠のない脅しに屈せず、私達のような辛い苦しい思いをする人が今後出てこないように、正々堂々立ち向かいます！

知らないうちに、食べてしまわないようにゲノム編集でない作物にOKシードマークを！
サポーター登録募集中！



編集後記

海と自然が世界一素晴らしいと移住してきた宮津でまさかこのような事態が起こると思っていませんでした。特に昨年1年間は企業からの脅しが続き、仕事もままならないような状況の中で、能登の避難所に炊き出しに行く事であつた跡地でも陸上養殖が始まりました。気仙沼の津波被害の次は能登が狙われているのではと心配です。復興という名のもとに一部の企業だけが儲かるような事業に国がお金を注ぎ込むことに、何とかストップかけたいです。

制作 井口NOCO 宮津市新宮199

NOCO HP

